



川上村地域おこし協力隊

「かわかもん」

平成30年度活動報告会

日程：平成31年2月3日（日）

時間：13:00～（12:30開場）

場所：川上総合センターやまぶきホール

〒639-3553 川上村大字迫1374-2

主催：川上村



はじめに



川上村長 栗山 忠昭

本日は、お忙しい中、地域おこし協力隊活動報告会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

全国各地で、過疎や少子高齢化により自治体としての存続が危ぶまれるほどの人口減少、地域の担い手不足が深刻な課題となっており、川上村でもそうした大きな課題に取り組んでいます。

本村では、平成25年度から地域おこし協力隊制度を導入し、これまで25名の若者を全国各地から受け入れてきました。現在は11名の隊員が地域に学び、水源地の村ならではの活動を展開しています。

また、これまでに11名が3年の任期を満了しており、うち7名が村内に定着しています。

本日は、隊員の中でも定住促進課の所管する通称“かわかもん”が取り組む地域資源を生

かしたさまざまなプロジェクトについて報告いたします。

地域おこし協力隊活動は「隊員」と「行政」、そして「地域の皆さま」との連携がなければ成功しません。本日は、報告をお聞きいただくことで、さらにご興味を持っていただければと思っております。

本日の活動報告会を機に、彼らとの関係をさらに深めていただきたく考えています。それにより、彼らの事業は官民協働、住民協働の事業へとステップアップしてもらいたいと強く期待しております。このためにも村としては、可能な限り彼らをバックアップしていく所存であります。

引き続き、地域おこし協力隊事業へのご理解、ご協力をお願いしまして、挨拶とさせていただきます。



下多古村有林
～歴史の証人～

かわかみ

・・・川上村と地域おこし協力隊・・・

地域おこし協力隊制度は、平成21年から総務省事業として創設され、移住定住を促進すべく、全国4,830人の協力隊が全997自治体へ移住しています(平成29年度時点)。川上村でも隊員が村内各地に居住し、自らの生業を作るべく活動しています。

そんな隊員たちの活動を皆さんに知っていただけるよう、昨年に引き続き、本活動報告会を開催しました。各々の活動報告からは活動内容だけでなく、村への思いも感じていただけるのではないかと思います。

より報告を身近に感じていただけるように、次ページ以降に隊員プロフィールや活動内容等を掲載しました。どうぞ、ご一読くださるよう、お願いいたします。

・・・現在の活動・・・



内水面漁業の振興 ～井光養魚場～



水の森 あそび研究所



カフェとやまいき市



山をいかす、山といきる。
やまいき市

かわかみらいふ でのOJT

～業務を通じた村生活の学び～



KAWAKAMON

MEMBERS



平井 健太

Kenta Hirai

前住所：兵庫県

現住所：大滝

採用月：平成28年4月

地域おこし協力隊

studio Jig

川上村に来て2年10か月が経ちました。昨年、制作に重きを置いた活動をしてきました。今年、もっと営業に力を入れ、自活に向けて活動を活性化していきたいと思っています。



今年、テレビ・ラジオ・雑誌・リトルプレスで川上村を紹介することができました。その活動を大切にしつつ、村の魅力を新たな観点から見て、発信する課題に挑戦していきます。

マタレーゼ エリック ジェームス
Eric James Matarrese

前住所：京都府

現住所：上多古

採用月：平成28年6月

地域おこし協力隊
anaguma文庫

KAWAKAMON

MEMBERS



朝日 陽子
Yoko Asahi

前住所：愛知県

現住所：井戸

採用月：平成29年4月

地域おこし協力隊
水の森
あそび研究所

この1年間は国内外のアウトドア事情を探りながら、川上村とその周辺の自然を保ちながら活かしていく方法を模索してきました。今後は、その集めた情報から考えた施策を実験的に試していこうと思います。



田野 雄大

Yuta Tano

地域おこし協力隊

内水面漁業の振興
～井光養魚場～

前住所：兵庫県

現住所：井光

採用月：平成29年6月

沢山の人達に支えられながら、1年と8か月を井光で無事に過ごすことができました。養魚場の一年間の仕事の流れも分かるようになり、今後の展開としてアマゴの加工品等のお土産物の作成に力を入れていきたいと思います。

K A W A K A M O N

M E M B E R S



渡邊 崇

Takashi Watanabe

地域おこし協力隊

MoonRounds

前住所：大阪府

現住所：東川 波津

採用月：平成29年4月

MoonRounds という屋号で木工の工房を設立しました。自身の生業を地域に根差して継続していきたいと思い、定期的に弥勒茶屋を匠の聚のイベントと連携して開催しました。木工とともに、地域活動も頑張っていきたいと思います。



かわかみらいふのコープ宅配業務を通じて、村内の地理や集落の特徴、機関同士の連携の実際について学ぶことができました。次年度は、これらの学びを活かして、少し付加価値を生むことができるような挑戦をしたいと願っています。

越智 祐子

Yuko Ochi

地域おこし協力隊
かわかみらいふ
でのOJT

前住所：愛知県

現住所：中奥

採用月：平成30年4月

KAWAKAMON

MEMBERS



平尾 知美

Tomomi Hirao

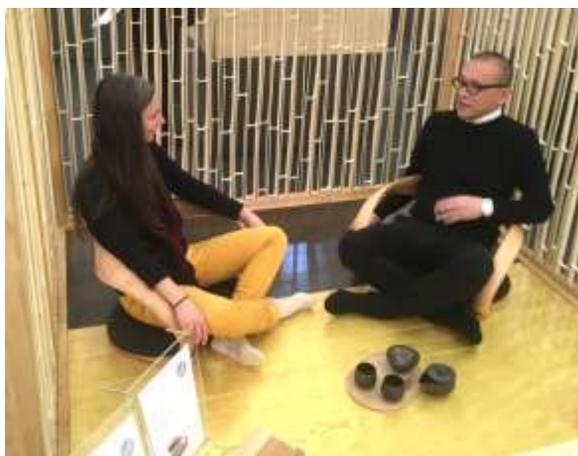
地域おこし協力隊
カフェと
やまいき市

前住所：兵庫県

現住所：下多古

採用月：平成30年9月

9月から暮らして早や半年近く。下多古区民の皆さんや、やまいき市を通してお会いできた皆さんから、川上村の伝統を教えていただきながら楽しく日々を紡いでおります。これから頑張りますので、よろしくお願ひします。



目的

吉野杉を活用した 新しい家具の開発・販売

概要

村の基幹産業である吉野林業によって育まれた吉野杉と、自身がこれまで培ってきた木工技術を組み合わせ、杉を利用した新しい家具を開発、販売する事で自活をめざしています。

現在は、小滝（大滝地区）にある倉庫を間借りして、開発した作品の制作、販売を行っています。

今後は、より事業を安定、拡大させるべく、家具だけではなく、自分にしか作る事のできない作品を制作し、結果的に吉野杉のPRに繋がるような活動をしていきたいと思っています。

担当



平井健太

左上：「きょうと椅子展」での展示風景

左下：Lexus New Takumi Project 集合写真

右上：インドネシア ジャカルタでの展示風景

右下：フランス ストラスブールでの展示風景

2018年度の取り組み

- 4月 「きょうと椅子展」 出展
- 5月 月刊「ならら」 記事掲載
- 6月 Lexus New Takumi Project 2018
奈良県代表として選出
- 11月 インドネシア「into the woods」
フランス「サロン・レゾナンス」 出展
- 12月 工房移転
- 1月 銀座一穂堂「翔ぶ鳥展」 出展
Lexus New Takumi Project プレゼン



目的

翻訳、通訳、エリック独自の観点から川上村の魅力を発信する

概要

翻訳と通訳のサービスを提供しながら、毎月のオイデ新聞、月刊ソトコトの連載、ローカルライフジャーナルの記事、定期的にリトルプレスを制作することによって、川上村の情報を発信しています。

私の感じた魅力や課題を村内外の皆さんと共有することによって、村の関係者を増やしたいと思います。海外の都会で生まれ育った僕は、新鮮な目で昔ながらの良さに感動して、その気持ちを文章で表現したり、テレビや他のメディアで紹介したりしています。

担当



マレーゼ エリック ジェームス

左上：丹生川上神社上社の手伝い

左下：月刊ソトコトの特集記事

右上：月刊ソトコトの連載記事

右下：BS-NHK「出張COOL JAPAN in 奈良」
放映画像

2018年度の取り組み

- 通年 翻訳と通訳サービス、オイデ新聞の制作、月刊ソトコトの連載
- 6月 「Oide」から「anaguma 文庫」に名称を変更。テレビ朝日「世界が驚いたニッポン! スゴ〜イデスネ!! 視察団」への出演
- 8月 『動物と人間』のリトルプレスを出版
- 11月 ローカルライフジャーナルの記事作成、BS-NHK「出張COOL JAPAN in 奈良」出演
- 1月 ローカルライフジャーナルの記事作成、『木について語る』を出版
- 3月 全国町村会主催「都市・農村共生社会創造シンポジウム2019」のパネルディスカッションに参加

水の森 あそび研究所



目的

川上村とその周辺の自然を活かした アウトドア アクティビティの提案

概要

川上村と周辺の豊かな森は、吉野川紀の川の最初の一滴が落ちる場所です。

その森をアウトドアフィールドという視点で資源として考え、有効活用と自然資源を永続的に利用するための保護という観点を持ちながら、楽しく過ごす「あそび方」を提案することで、新しいビジネスモデルを模索していきます。

この活動はすぐに結果に結びつきませんが、実験的な活動を続けることで、従来にない答えを見つける可能性を秘めていると考えています。

担当



朝日陽子

左上：川上村の絶景ポイント探し

左下：苔テラリウムワークショップ@図書館

右上：河原ボルダリング@三之公

右下：spinoff 商品

2018年度の取り組み

- 通年 インスタグラム「水の森 あそび研究所」の継続的な投稿による情報提供
- 4月 森での遊びを考える
- 5月 川上村立図書館で苔テラリウムワークショップの実施
- 7月 森での遊びのモニターツアーの実施とその記録を残す
- 11月 出版社などの外部メディアへのアプローチ、木のアクセサリーブランド spinoff活動

内水面漁業の振興

～井光養魚場～



目的

養魚場・井氷鹿の里 の管理運営

概要

井光地区の養魚場でアマゴをはじめとした川魚の生産効率を高め、加工販売を検討し、川魚の美味しさを村内外に伝えていこうと取り組んでいます。

隣接する井氷鹿の里の運営も行い、溪流釣りの楽しさを伝えていきたいと思っています。

こうした活動を通して、川上村の魅力を村内外発信するとともに、内水面漁業の振興について考えていきたいと思っています。

担当



田野雄大

左上：子どもたちと魚釣り

左下：西日本産直協議会に出展

右上：養魚場の養殖アマゴ

右下：干物づくり

2018年度の取り組み

通年 井氷鹿の里、養魚場での養魚業務・加工品開発

5月 奈良放送「ゆうドキッ！」出演

6月 西日本産直協議会に出展

7月 井氷鹿の里祭り

10月 週刊つりニュースに井氷鹿の里の釣り情報を掲載開始

「むらしるべ」で川上村の子どもたちに釣り体験をサポート

ムーンラウンズ
MoonRounds



目的

地域材を活かした 木工製品の製造

概要

木材資源の6次産業化をめざして、波津集落（東川地区）の倉庫を改装し、MoonRoundsという屋号で木工の工房を設立しました。

既存の概念にとらわれず、これからの林業形態を考えながら木工制作を行い、村内外に向けて発信し、出展や販売を行っています。

自身の暮らす波津集落において、地域の皆さんと共に、落語や喫茶などで集う「弥勒茶屋」を開催し、匠の聚のイベントと連携した地域活動を展開しています。

担当



渡邊 崇

左上：吉野ヒノキのお椀

左下：石田総務大臣来村の際の取組説明

右上：弥勒茶屋の風景

右下：いにま陶房とのコラボ

2018年度の取り組み

- 1月 MoonRounds設立
 - 5月 匠の聚のアートフェスティバルの開催に合わせ、弥勒茶屋の催行
 - 7月 阪神百貨店催事に出展
 - 10月 匠の聚の山のふぶすたの開催に合わせ、弥勒茶屋の催行
- 来村された石田総務大臣に自身の取組みを説明

かわかみらいふでのOJT

～業務を通じた村生活の学び～



目的

村を知り、持続可能な生活について考える

概要

コープ宅配実務を通じて、「行き届ける」ことの重要性に気づかされました。荷物とともに、「お変わりありませんか？」の気持ちを届けています。また、移住者にとっては、村での四季折々の暮らしを学ぶよい機会でした。さらに、かわかみらいふと役場をはじめとする関係機関との連携についても学びました。

その他の活動では、県唯一の村立図書館の魅力を最大にしたいと、図書館と協働の企画をさせていただきました。

担当



越智佑子

左上：配達の際のおしゃべり

左下：大学生とアイデアワークショップ

右上：クリスマスの配達

右下：人柄あふれ出る朗読会

2018年度の取り組み

通年 コープかわかみらいふでのコープ宅配

11月 図書館でのワークショップ、朗読会開催



コープ配達先にて（お茶でねぎらい）

カフェとやまいき市



目的

**村を広め、
つないでいく仕事づくり**

概要

川上村の受け継がれている水・森・食物。

それが人口の減少と共に終わっていくのはあまりにも悲しい。だから自分の足で訪れ、耳で聞き、目で見て、川上村の歴史を知り…こんなにも温かい方がたくさんいるこの土地を、村に訪れた方々に広めたい。地域内でも繋いでいきたい。

その思いから、川上村の自然や歴史が“いろんな人に交わり広がるカフェ”を、美味しい“源流野菜を繋いでいくやまいき市”に取り組んでいこうと思います。

担当



平尾知美

左上：茶粥づくりレクチャー

左下：おいしいコーヒーの淹れ方講座

右上：野菜の生産者の畑を訪問

右下：川上村の星空を羊羹に！

2018年度の取り組み

通年 「カフェ」の商品開発
「やまいき市」朝市開催

9月 やまいき市

10月 村コンイベント司会

地方創生フォーラム公演出席

食品衛生責任者資格 取得

11月 川上ingツアーのお手伝い

12月 カフェメニューの商品開発

移住交流フェアの来場者への移住
相談サポート（大阪）

南山城村の道の駅視察研修

KAWAKAMON PHOTO ALBUM

川上村で地域おこし協力隊が活動を始めて5年目を迎え、彼らの活動も多方面にわたりさまざまな繋がりを生んでいます。その経験を発展させ、現在はさまざまな分野の活動に取り組んでいます。彼らの活動を少しではありますが、フォトアルバムとして掲載しました。

引き続き、彼らの活動に期待したいと思います。



KAWAKAMON PHOTO ALBUM



KAWAKAMON PHOTO ALBUM



KAWAKAMON PHOTO ALBUM

活動実績チラシ集



ミニ制作事例集



KAWAKAMON PHOTO ALBUM

WEB・SNS

「検索方法」

- ①QRコードを読み込む
- ②Instagramで検索
 - 1) 検索 (🔍) をタップ
 - 2) 検索ワードを入れて検索
- ③検索エンジン (Googleなど) でURLを入れて検索

お持ちの
スマートフォン
パソコンなどが
是非ご覧



WEB URL : <https://www.studiojig.com/>

Instagram : <https://www.instagram.com/studiojig/> 検索ワード「studiojig」



anaguma 文庫



WEB URL : <https://anaguma-bunko.com/>

Instagram <https://www.instagram.com/anagumabunko/> 検索ワード「anagumabunko」

Twitter : <https://twitter.com/anagumabunko>

水の森 あそび研究所、
Spin-off



Instagram(水の森 あそび研究所) : https://www.instagram.com/mizunomori_nara/ 検索ワード「mizunomori_nara」

Instagram(spin-off) : <https://www.instagram.com/spinoff2017/> 検索ワード「spinoff2017」



内水面漁業の振興
～井光養魚場～



WEB URL : <https://chiikino.wixsite.com/ihikanosato>

Instagram : <https://www.instagram.com/moonrounds/>
検索ワード「moonrounds」

地域おこし協力隊とは・・・

地域を変える力 になろう。

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」
「人とのつながりを大切にして生きていきたい」
「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」…。

今、都会に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、
文化などに恵まれた「地方」に注目しています。

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、
地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、
その定住・定着を図ることで、
意欲ある都市住民のニーズに応えながら、
地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。
(移住・交流推進機構ホームページより引用)



らも、
よろしく
お願いいたします！